



感想文

大西良子

11月例会兼交流部秋の集いで小野村割岳に参加させて頂きました。参加人数(15名)が少なかったため西川さん小川さんの車を満車として松井山手を出発。京都市左京区広河原と美山を結ぶ佐々里峠で下車後、入山開始。登山道の脇は大きなブナが林立し、落葉を踏みながら歩き始めました。しばらく自然林が続きやがて登山道を遮るように倒木があったり倒れてしまった老木に若木が生えており自然の強さを目の当たりに感じました。しばらく歩くと雷杉と呼ばれている巨木に到着、ここで昼食となり、食後持参いただいたカップとお湯でコーヒータイト交流部からクッキーとドーナツを提供させて頂きました。

お腹も一杯になり911ピークを目指して出発。目的地辺りの稜線は踏み跡が薄いので木々にティッシュを巻き付け帰りの道標としました。しばらくすると人が数人入れる巨木、ここが911ピークで今回の目的地に到着となりました。

帰り道の途中、班の先頭を初体験させて頂き同じ道を歩いているはずが往きと復りでは随分違って見えるものだと感じました。先輩たちの後ろからのアドバイスを頂きながらハラハラドキドキ、佐々里峠に到着しひと安心。そして道中きのこの群生地を見つけ沢山の収穫をしたり、個性的な巨木と出会え楽しい秋の山行となりました。だれもお腹を壊したとの話は伝わってこないの、毒無しキノコを確かにゲットしたようでした。めでたしめでたし。

小川 弘二

鞍馬からのヘヤピンカーブの連続には気を使ったが無事9時過ぎに佐々里峠に到着。紅葉も始まっており、黄色に色づく景色を見ながら最初のハシゴを登り、上を目指す。高度が増すにつれ樹齢1000年かと思われる杉の巨木が次々と現れ目を楽しませてくれる。



の凄さを改めて思い知らされた。

又この辺りは雨も多く、カミナリの発生も多いのかな？

最初のカミナリ杉に到着したのが11:00。カミナリ杉はこれ一本かと思いきや、暫く歩くともう一本カミナリ杉が現れた。いつ頃カミナリが落ちたか判らないが、樹の断面が三日月形になっており内面は空洞の黒こげ状態。カミナリ



時間の関係で小野村割岳まで行かず、手前の911のピークで集合写真を撮り15:半に下山。C Lの山下さん及び交流部の皆様ありがとうございました。